



認定NPO法人育て上げネット

平成29年度第二回青少年問題調査研究会

少年院出院後の再犯防止の視点と課題

- **育て上げネットについて**
- **矯正教育とのかかわり**
- **少年院「内」「外」での支援**
- **課題と解決への展望**

- **育て上げネットについて**
- **矯正教育とのかかわり**
- **少年院「内」「外」での支援**
- **課題と解決への展望**

〈チャート①〉

社会保障給付(医療介護・年金等)

就労に伴う税金・
社会保険料額

生活保護給付

正規雇用された
25歳単身の場合

25歳から
生活保護給付を
受けた場合

コストギャップ
約**1億5千万円**

出典：厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/topics/2012/01/dl/tp0118-1-10.pdf/>

事業領域：若者支援事業



事業領域：教育支援事業



事業領域：学習支援事業

まなびタスは、「学び」に4つのCをプラスした
子どもたちのための場所です。



- Confidence** 子どもたちに自信と肯定感を！
- Challenge** 子どもたちにたくさんの挑戦を！
- Communication** 子どもたちにつながる力を！
- Chance** 子どもたちにたくさんの機会を！

自分らしい人生をイキイキと生きていくためには
自信「自分を信じる力」と、

肯定感「自分はかけがえない存在だと感じること」が
必要不可欠だと言われています。

こうした力を養うためには、
挑戦「失敗してもやりなおしのできるチャレンジ」と
つながる力「困ったときに人に頼れる力」が必要です。

まなびタスは、生きていく力を養うために
子どもたちにたくさんの機会を与える場所です。
子どもたちが希望に出会える場所です。



事業領域：保護者支援事業



- 育て上げネットについて

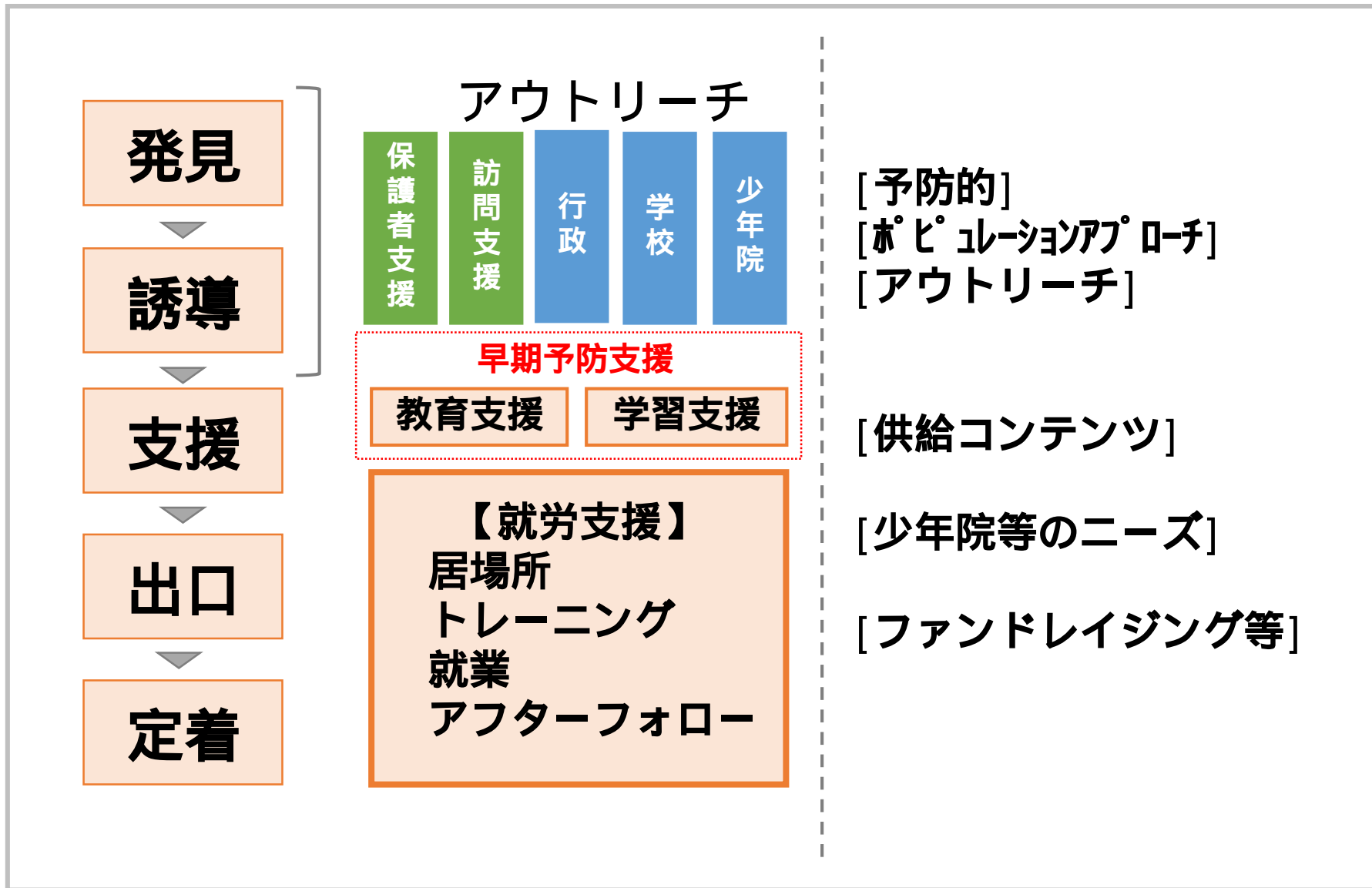
- 矯正教育とのかかわり

- 少年院「内」「外」での支援

- 課題と解決への展望

**「リスクアプローチ」から
「ポピュレーションアプローチ」
「対処型」に加えて「予防型」を**

Vision : すべての若者が社会的所属を獲得し、「働く」と「働き続ける」を実現できる社会
Mission: 若者と社会をつなぐ



- **就労支援プログラムに非行少年等の参加もあった**
- **公設民営の若者支援施設運営を始める**
- **約8年前から少年鑑別所で活動**
- **ネットワーク会議等で矯正教育機関との情報交換など**
- **約3年前からプロジェクトベースで矯正教育機関とのパートナーシップへ**

- 育て上げネットについて
- 矯正教育とのかかわり
- 少年院「内」「外」での支援
- 課題と解決への展望

仲間の獲得

Ex, スタディツアー

問題の社会化

Ex, 情報発信・メディア

具体的支援

Ex, 茨城農芸学院、多摩少年院

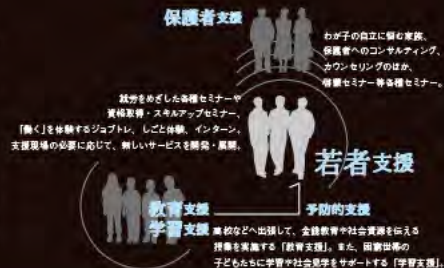
資金調達

Ex, クラウドファンディング

認定特定非営利活動法人 S 育て上げネット

若年層（15～30歳）の16人に1人が無業にあるなか、私たちは働きたいけれど働けない若者への支援を中心にを行っています。
*育て上げネット独自調査より

また、わが子の自立に悩む保護者への支援や、不本意に無業に陥らないための予防的な教育支援活動、経済的困窮状態にある世帯の子どもたちへ学習支援活動なども行っています。



少年院から退院した若者をはじめ、「働きたいけれど働けない」若者のためにご支援をお願いいたします。
彼らの自立を支えることは、私たち社会への投資です。

継続的なご支援をお願いします。

●Web サイト上からクレジットカード定期引き落とし
下記 URL にアクセスして、所定項目を記入し、会員登録してください。
<https://www.kifu-form.jp/form/sodateage/once/index.html>

キフカラ 育て上げ 検索

お選びいただき、所定の項目にご記入ください。

月額、年額の金額をお選びいただけます。1回のみのお寄付もweb上で承ります。



継続のご寄付をいただいた方には、事業報告書の送付ほか、事業報告会や発表会へのご招待など、活動報告や交流の場をご用意させていただきます。

●今回のみの寄付を振り込みする

振込によるご寄付も受け付けております。
振込用紙に必要事項をご記入のうえお振り込みください。
振込用紙が必要な方は、下記育て上げネットまでご連絡ください。

●モノで寄付、行動で寄付、お買い物で寄付

多様な応援の方法をご用意しております。
<https://www.sodateage.net/investment/>

育て上げ 寄付 検索

【認定特定非営利活動法人（認定 NPO 法人）】とは、運営経路及び事業活動が適正であり、公益の増進に資することなど、一定の要件を満たすものとして、各自治体から認定を受けたものをいいます。
認定 NPO 法人に対する寄付は、「寄付金控除（所得控除および税額控除）」の対象となり、税制上の優遇措置が講じられます。

認定特定非営利活動法人 S 育て上げネット

〒190-0011 東京都立川市高松町 2-9-22 生活ビル 3F
E-mail: info@sodateage.net HP: <http://www.sodateage.net>

☎ 042-527-6051
FAX 042-548-1368

S sodateage



少年院から退院した子どもが
安心して再チャレンジできるよう
みんなで支えたい

クラウドファンディングに
ご協力いただき、ありがとうございました。
みなさまの応援が、
少年たちの心の支えになっています。

集まった支援総額 **¥1,192,000**
ご協力パトロン数 **155** 名の方々

そんな悪い子たちははようっておけばいい……

そんな反発があるかとドキドキしながらはじめたファンディング。
しかし、私たちの取り組みに賛同してくださる方が155名も名乗りを上げてくださり、各メディアにも取り上げてもらい、問題を顕在化させることができました。
「がんばる力の格差」は応援する人の数と質で埋められるはず……
そう言ったのは当法人の井村良英ですが、その言葉通り、みなさまの応援が少年たちの背中を押ししています。本当にありがとうございました。そして、引き続きの応援、ご関心をよろしくお願ひいたします。



“みんな”
になってくださった
みなさまへ

認定 NPO 法人育て上げネット
理事長 工藤 啓

のは私たちの役目ではなく、彼ら・彼女らが家庭や社会とつながり、安定的かつ自立的な生活を送ることができるために尽力すること、それが私たちの使命であることに確信を持つようになりました。

“みんな”をテーマにご協力いただいたみなさま一人おひとり“みんな”の一員になってくださいました。現在、その想いを背負って活動をさせていたがいています。心より感謝申し上げます。

この分野にかかわるようになってもっとも印象的だったのは、少年院は社会的になかなか理解されないということです。現場の法務教官はこう言ってくれました。「こんなにもたくさんの“みんな”をありがとうございます」。そう言って、私の手を握りほど強く握りました。その手の温かさを私は忘れません。

少年院に初めて足を運んだとき、いつもより少しだけ身体がおぼつていました。心の中のどこかに「彼らは凶悪な少年だ」という偏見があったのだと思います。しかし、何度も足を運び、少年院で子どもたちの矯正教育に携わる法務教官の方々とコミュニケーションを重ね、実際に子どもたちとも触れ合っていくと、その偏見という壁はぼろぼろと崩れ落ちていったのです。
少年院の「中」で子どもたちとかわかり、退院した子どもたちとつながるなかで、過去に犯した罪の悔いを考える

院内での支援 最低限のスキルを身に付けるPC講座実施中



彼らは今までの人生で大きなマルをもらったことはあったのだろうか

小中高と通学できなかった少年も多く、言葉をローマ字に変換できないなど、最初はタイピングすらままなりません。しかし、ほんの2週間で110文字以上打てるようになります。講師が、達成シートに花まるをつけて「よくできたね!」「すごい!」とほめる、恥ずかしそうですがとてもうれしそうです。彼らは、大きなマルを今までのぐらいいらったのだろうか。私たちは思わず考えてしまいます。

私の話す言葉は伝わるだろうか、理解してもらえらるだろうか。そもそも彼らはどうして少年院にいらるのだろうか。「矯正教育」という言葉に縁のなかった私は、当初、「少年院」にいる子どもたちと接することに緊張していました。

しかし、彼らと半年間接したあと、その緊張は、「この子たちはなぜここにいるんだろう」という疑問に変わっていました。「もっと早く打てるようになりたい!」「もっといろいろなことを学びたい」という気持ちも表現し、長時間の講座も飽きることなくパソコンに向かう彼ら。講座の始まりと終わりにには挨拶のうしろ挨拶をしてくれます。私が見たものがすべてという換わりはありますが、「悪意」のようなものはいつか感じられませんでした。

パソコン講座の講師としてがけの関わりなので、夜の回は仮退院している若者も珍しくありません。ですから、講座の終わりは新しくできたことや成長したことを一緒に確認しながら「応援したいよ!」と伝えていきます。ご寄付いただいたみなさまのように、応援してくれる人が社会にいらることが伝わればと思っています。

院内PC講座講師 山崎 祥



少年院出身者を受け入れてくださったIT企業の方より いわゆるフツウの子と大きなちがいはないと感じられます。

弊社は企業理念として世界中の若者がキラキラした目でたたく環境を作るため、18~35歳までの若者に特化した採用・教育を実施しています。育て上げネットとは5年以上に渡るお付き合いがありひきこもりの方々を受け入れ、社会で活躍する若者を輩出するきっかけづくりをさせていただいております。こんな経緯から、少年院を退院した子どもについても同様ではないかと思い、数年前から就労少年・少女に関する書籍を読み、準備をしてみました。

現在、A君を受け入れ、4ヶ月程度が経ちました。A君自身、以前はいくつかのアルバイト実績がありましたが、短期間でフェイドアウトしている状況でした。早い段階で物事の見切りをつける傾向があり、まわりの人からどう見られているか気がならず、自身を過少評価してしまっていました。

働き始めは毎日続けるのが難しい状況が続きました。ただ、同年代の社員や同僚の違う仲間とはすこし仲良くいられるところがあり、徐々に「時間を守ること」ができるようになってきました。体調が悪くても我慢してしまうことが多かったのですが、最近はこちらから聞くことと正直に答えてくれるようになりました。業務上の新しい成長はまだ感じられませんが、そこは普通の若者と特筆すべき差はないように感じます。できないことを「できない」と言えるようになり、少しでも相手ができる人ができたことは大きな変化だと感じます。

退院した少年であることを周知せずにはたらいもっていることもあり、普通にみなさん接してくれています。ひきこもりの子どもが多いため過去のことを特段聞かないので、そこが本人としてもやりやすかったのかと思います。

退院後の支援 「働き続ける」までをサポートする自立支援実施中



「僕は怖そうですか? 目つきは悪いですか?」久しぶりの社会に不安そうな少年。あるとき、少年院に迎えにいった少年は、家族の迎えもなく、ほとんど何も持たず外に出てきました。彼の大好きなラーメンと一緒に食卓に話を聞き、履歴書と面接を指導。就活用スーツを貸し出しました。街頭でチラシがもらえなかったとき、「僕は怖そうですか?」とまじめな顔で聞き、社会への不安を隠せない彼。健康診断書や就職に必要な書類取得など、まだ幼い年齢なのにすべてを一人でやらなくてはいけません。せめて私たちが支えになりたい...そう思っています。

「洗濯機をもらえて良かったです!」

少年院を仮退院した彼から連絡があるのは、自分なりにがんばって、それでもうまくいらずに困窮したときです。家族からの応援がない中、職に就き、一人暮らしをはじめたときに、こんな連絡がありました。「ほかに困っていることはない?」と返すと、小さな声で「インスタント食品を運んでもらえませんか? 鍋もあります」と。彼の後ろ盾もなく、ひとりではがんばる少年を応援してあげたい。就職がむずかしいままでもがんばることをがうまいたい。困窮が起るたびに応援しています。私たちが力になれることもあります。

彼が別れ際に必ず伝えることがあります。「君を応援してくれている人はたくさんいます。僕は8年間は関わりたいたいと考えています」だいたい8年くらい経つと、若者は就労と生活が安定してきます。そのことを短い言葉で伝えると、落ち込んだ表情をしても、彼はいつかのこと笑ってくれます。がんばる少年たちに希望を与えてくださり、本当にありがとうございます。

通院後自立支援講師 井村 良英



少年院生について、話を聞いて聞くと、なぜ彼らは犯罪をした。『それしたら』は一般的に生活を送ることができているのか、よくわからなくなっている。(YAHOO! 西田亮介氏寄稿 2016/7/20)

少年院からの社会復帰というとき、就労支援を好んで結ばれることが多い。そのための協力を進め、新しい就労のルートと支援の体制が構築されている。(YAHOO! 西田亮介氏寄稿 2017/3/4)



少年院の若者は「指導が多様化していく時代、外部の方がノウハウに優れている」ともある。『少年の働き方矯正教育について聞かなくてもいい』と『将来的に少年を支える』とつながっている。(THE RACE 2017/2/20 高橋 純也)



通院は放課後教育を行う団体。パソコン指導により若者の就労を支援してきた実績がある。育て上げネットに依頼した。院内での指導を各県の学校の教員に頼むことはあるが、若者支援のNPOの能力を頼るのはむしろいい。 (毎日新聞 2017/1/15 東京夕刊)

たくさんの方のみなさまの応援によって各メディアにこの問題を取り上げていただくことが出来ました。言葉も

- 育て上げネットについて
- 矯正教育とのかかわり
- 少年院「内」「外」での支援
- 課題と解決への展望

【課題】

- 人材採用と育成

人間力 > 専門性

期待や希望を入れ込み過ぎない

- 資金調達

第二顧客型 > 第一顧客型

- 支援リソースの拡充

支える人間の質量と機関、帰住先
住民票、携帯電話など

【展望】短期～中期

少年院という「場」を中心とした

コレクティブ・インパクト

【展望】中期～長期

保護司（個人）に加え、（法人）でも
保護司的役割を担える法整備

法人保護司・保護法人（仮）

すべての若者が社会的所属を獲得し、 「働く」と「働き続ける」を実現できる社会



若者と社会をつなぐ